

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-148323

(43)Date of publication of application : 26.05.2000

(51)Int.Cl.

G06F 3/00
G01C 21/00
G08G 1/0969

(21)Application number : 10-314895

(71)Applicant : FUJITSU TEN LTD
TOYOTA MOTOR CORP
AISIN AW CO LTD
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
DENSO CORP

(22)Date of filing : 05.11.1998

(72)Inventor : OKADA TAKAO
KIMURA MASAYUKI
SHIBATA YUMI
KO DENMEI
TSURUMI TOSHIYA

(54) SYMBOL SELECTING AND INPUTTING DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a symbol selecting and inputting device facilitating selecting a symbol at the time of selecting and inputting one of plural symbols.

SOLUTION: When plural symbols (for example, 'HIRAGANA' which is the cursive form of the Japanese syllabary) are displayed on a display, a cursor position symbol (for example, 'MI' which is one of the Japanese syllabary) is emphatically displayed (for example, surrounded by a square), and also a group to which the cursor position symbol is belonging (for example, 'MAMIMUMEMO' which is one group of the Japanese syllabary) is emphatically displayed (for example, surrounded by a square).

(A) あいうえお はひふへほ
かきくけこ **さしすせそ**
たちつと ぬねの
にねの わせん、

(B) あ か き た な
い き し ち に
う く す つ ぬ
え け せ て ね
お こ そ と の
ほ **ま** や ら わ
ひ **み** い り を
ふ **む** ゆ る ん
へ め え ね 。
ほ **も** よ う 、

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

01.06.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-148323

(P2000-148323A)

(43) 公開日 平成12年5月26日 (2000.5.26)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 3/00	6 5 1	G 0 6 F 3/00	6 5 1 A 2 F 0 2 9
G 0 1 C 21/00		G 0 1 C 21/00	H 5 E 5 0 1
G 0 8 G 1/0969		G 0 8 G 1/0969	5 H 1 8 0

審査請求 未請求 請求項の数18 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平10-314895

(22) 出願日 平成10年11月5日 (1998.11.5)

(71) 出願人 000237592

富士通テン株式会社

兵庫県神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

(71) 出願人 000003207

トヨタ自動車株式会社

愛知県豊田市トヨタ町1番地

(71) 出願人 000100768

アイシン・エイ・ダブリュ株式会社

愛知県安城市藤井町高根10番地

(74) 代理人 100077517

弁理士 石田 敬 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 シンボル選択入力装置

(57) 【要約】

【課題】 複数のシンボルの中の1つを選択入力する際にシンボルの選択を容易とするシンボル選択入力装置を提供する。

【解決手段】 ディスプレイに複数のシンボル（例えば50音の「ひらがな」）が表示された場合に、カーソル位置シンボル（例えば「み」）が強調表示（例えば□で囲む）だけでなくカーソル位置シンボルが属するグループ（上記例においては「まみむめも」）も強調表示（例えば□で囲む）される。

図6

本発明に係るシンボル選択入力装置による「ひらがな」の表示例（1）

(A) あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしせそ やいゆえよ

たちつと らりるれろ

なにぬねの わせん、

(B) あ か さ た な

い き し ち に

う く す つ ぬ

え け せ て ね

お こ そ と の

は ま や ら わ

ひ み い り を

ふ む ゆ る ん

へ め え れ 。

ほ も よ ろ 。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のシンボルを同時に表示する表示手段と、

前記表示手段の表示された複数のシンボルの1つを選択する選択手段と、

前記選択手段で選択された1つのシンボルを強調表示するシンボル強調表示手段と、

前記選択手段で選択された1つのシンボルと予め設定された特性を同じくするグループに含まれるシンボルを強調表示するグループ強調表示手段と、を具備するシンボル選択入力装置。

【請求項2】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルを四角で囲むものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項3】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルにアッパーラインまたはアンダーラインを付すものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項4】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルを反転表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項5】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルに立体処理を施して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項6】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルの背景を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項7】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルの大きさを変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項8】 前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルの色を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項9】 前記表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルの字体を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項10】 前記表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、

前記シンボル強調表示手段が、前記選択手段で選択された1つのシンボルの仮名種類を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項11】 前記グループ強調表示手段が、グループを四角で囲むものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項12】 前記グループ強調手段が、グループに

アッパーラインまたはアンダーラインを付すものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項13】 前記グループ強調表示手段が、グループを反転表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項14】 前記グループ強調表示手段が、グループに立体処理を施して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項15】 前記グループ強調表示手段が、グループの大きさを変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項16】 前記グループ強調表示手段が、グループの色を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項17】 前記表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、

前記グループ強調表示手段が、グループの字体を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【請求項18】 前記表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、

前記グループ強調表示手段が、グループの仮名種類を変更して表示するものである請求項1に記載のシンボル選択入力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はシンボル選択入力装置に係わり、特に複数のシンボルの中の1つを選択入力する際にシンボルの選択を容易とするシンボル選択入力装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、自動車の運転を容易にするために出発地から目的地までの経路をディスプレイ上に表示するナビゲーション装置が実用化されている。このナビゲーション装置では、例えば出発地から目的地までの経路を探索する際に目的地の地名・名称を入力する必要があるが、ナビゲーション装置にシンボル（ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字等）を入力する方法としてディスプレイに表示された複数のシンボルをカーソルで選択する方法が適用される場合が多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ディスプレイ上に表示された複数のシンボルの中から1つを見出して選択することは簡単ではない。特にシンボルが「ひらがな」または「カタカナ」である場合には、50のシンボルすべてをディスプレイ上に表示することが必要であるために選択は困難となる。

【0004】図1は「ひらがな」の表示例であって、

(A)は50音の前半を左側に、後半を右側に記載した場合、(B)は50音の前半を上部に、後半を下部に記

載した場合を示すが、特に(B)のように等間隔で表示したときには選択は一層困難となる。本発明は上記課題に鑑みなされたものであって、複数のシンボルの中の1つを選択入力する際にシンボルの選択を容易とするシンボル選択入力装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】第1の発明に係るシンボル選択入力装置は、複数のシンボルを同時に表示する表示手段と、表示手段の表示された複数のシンボルの1つを選択する選択手段と、選択手段で選択された1つのシンボルを強調表示するシンボル強調表示手段と、選択手段で選択された1つのシンボルと予め設定された特性を同じくするグループに含まれるシンボルを強調表示するグループ強調表示手段と、を具備する。

【0006】本発明にあつては、表示手段に表示された複数のシンボルのうち選択手段で選択されたシンボルがシンボル強調処理されて表示されるだけでなく、そのシンボルが属するグループに含まれる他のシンボルがグループ強調処理されて表示される。第2の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルを四角で囲むものである。

【0007】第3の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調手段が選択手段で選択された1つのシンボルにアッパーラインまたはアンダーラインを付すものである。第4の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルを反転表示するものである。

【0008】第5の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルに立体処理を施して表示するものである。第6の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルの背景を変更して表示するものである。第7の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルの大きさを変更して表示するものである。

【0009】第8の発明に係るシンボル選択入力装置は、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルの色を変更して表示するものである。第9の発明に係るシンボル選択入力装置は、表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルの字体を変更して表示するものである。

【0010】第10の発明に係るシンボル選択入力装置は、表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、シンボル強調表示手段が選択手段で選択された1つのシンボルの仮名種類を変更して表示するものである。第11の発明に係るシンボル選択入力装置は、グループ強調表示手段がグループを四角で囲むものである。

【0011】第12の発明に係るシンボル選択入力装置

は、グループ強調手段がグループにアッパーラインまたはアンダーラインを付すものである。第13の発明に係るシンボル選択入力装置は、グループ強調表示手段がグループを反転表示するものである。第14の発明に係るシンボル選択入力装置は、グループ強調表示手段がグループに立体処理を施して表示するものである。

【0012】第15の発明に係るシンボル選択入力装置は、グループ強調表示手段がグループの大きさを変更して表示するものである。第16の発明に係るシンボル選択入力装置は、グループ強調表示手段がグループの色を変更して表示するものである。第17の発明に係るシンボル選択入力装置は、表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、グループ強調表示手段がグループの字体を変更して表示するものである。

【0013】第18の発明に係るシンボル選択入力装置は、表示手段に表示されるシンボルが仮名であり、グループ強調表示手段がグループの仮名種類を変更して表示するものである。

【0014】

【発明の実施の形態】図2は本発明に係るシンボル選択入力装置が適用されるカーナビゲーション装置の構成図であつて、ナビゲーションコンピュータ20を中心として構成される。即ち、GPS (Global Positioning System) 衛星(図示せず)から伝送されてくる情報はナビゲーションアンテナ21およびナビゲーションレシーバ22を介してナビゲーションコンピュータ20に入力される。

【0015】また、地磁気センサ、角速度センサ、操舵角センサ等で構成される方位を検出するための方位センサ23の出力、および自動車の速度を検出するスピードセンサ24の出力もナビゲーションコンピュータ20に入力される。さらに、CD-ROM25に記録された地図および地名情報はCD-ROMプレイヤ26で再生されてナビゲーションコンピュータ20に入力される。

【0016】ナビゲーションコンピュータ20から出力される案内情報は、視覚情報としてディスプレイ27に表示されるとともに音声情報としてスピーカ28から出力される。なお、カーナビゲーション装置の動作は付属のリモートコントローラ29、ディスプレイ上に設けられたタッチパネル、あるいはナビゲーション装置本体に設けられた操作スイッチ等によって制御される。

【0017】図3は自動車に対するカーナビゲーション装置の搭載例であつて、ナビゲーションコンピュータ20、ナビゲーションレシーバ22、CD-ROM25およびCD-ROMプレイヤ26はトランクルームに搭載される。スピードセンサ24は前輪に、ナビゲーションアンテナ21はインスツルメントパネル上部に、方位センサ23はリヤウインド付近に搭載される。

【0018】さらに、ディスプレイ27はインスツルメントパネル内に、スピーカ28は運転者側のドア内に収

納・搭載される。なお、搭載位置はこれに限定されるものではない。図4はカーナビゲーション装置の動作を制御するためのリモートコントローラ29の上面図であって、「メニュー／戻る」スイッチ291はメニュー画面あるいは前の画面に戻ることを指令するためのスイッチである。

【0019】「広域／詳細」つまみ292はスイッチを左右に回転させることにより、ディスプレイ27に表示されている地図の縮尺を変更することができる。「決定」キー293は前後左右に倒すことによってディスプレイ27に表示されているカーソルの位置を移動させることができるだけでなく、まっすぐ押下することによりナビゲーションコンピュータ20への入力を確定することができる。

【0020】「現在地」スイッチ294はディスプレイ27に表示されている地図上に自車の現在地を表示する。なお、「画面スイッチ」295は表示画面のメニューを表示するためのスイッチであり、「取り外し」スイッチ296はリモートコントローラ29をホルダ（図示せず）から取り外すためのスイッチである。

【0021】図5は本発明に係るシンボル選択入力装置に使用され、ナビゲーションコンピュータ20で実行されるシンボル表示ルーチンのフローチャートである。ステップ51で複数のシンボルをディスプレイ27上に表示し、ステップ52でディスプレイ27上のカーソルの表示位置を読み取る。ステップ53においてカーソルの表示位置に表示されているシンボル（カーソル位置シンボル）を探索し、ステップ54でカーソル位置シンボルを強調表示するためにカーソル位置シンボル強調処理を実行する。

【0022】次にステップ55でカーソル位置シンボルが属するグループを探索し、ステップ56でそのグループに属するシンボル全体を強調表示するためにグループ強調処理を実行してこのルーチンを終了する。図6は本発明に係るシンボル選択入力装置による「ひらがな」の表示例であって、(A)は50音の前半を左側に、後半を右側に記載した場合、(B)は50音の前半を上部に、後半を下部に記載した場合を示す。そして、カーソル位置シンボル強調処理としてカーソル位置シンボル（図の例においては「み」）を□で囲むとともに、グループ強調処理として同じ子音を含むグループ（図の例においては「ま」行の文字）も□で囲む。

【0023】図7、8および9はカーソル操作の説明図である。図7はリモートコントローラ29の決定キー293を下に倒した場合の説明図であって、1回決定キー293を下に倒すと、カーソル位置シンボルは「い」となり、グループは「や」行となる。さらに決定キー293を下に倒すと、カーソル位置シンボルは「り」となり、グループは「ら」行となる。

【0024】図8はリモートコントローラ29の決定キ

ー293を上倒した場合の説明図であって、1回決定キー293を上倒すと、カーソル位置シンボルは「ひ」となり、グループは「は」行となる。さらに決定キー293を上倒すと、カーソル位置シンボルは「に」となり、グループは「な」行となる。図9はリモートコントローラ29の決定キー293を左に倒した場合の説明図であって、1回決定キー293を左に倒すと、カーソル位置シンボルは「ま」となり、グループは「ま」行のままである。さらに決定キー293を左に倒すと、カーソル位置シンボルは「こ」となり、グループは「か」行となる。

【0025】上記実施例においてはシンボル強調処理およびグループ強調処理がともに□で囲む処理であるが、以下のシンボル強調処理およびグループ強調処理を組み合わせることも可能である。

1. シンボル強調処理

- i. 反転表示（図10）
- ii. アンダーラインまたはアッパーライン付け
- iii. 立体処理（図11）
- iv. 背景付け（図12）
- v. 大きさの変更（拡大または縮小）（図13）
- vi. 表示色の変更
- vii. 字体変更（図14）
- viii. 仮名種類変更（図15）
- ix. 上記の組み合わせ

2. グループ強調処理

- i. アンダーラインまたはアッパーライン付け（図16）
- ii. 反転処理
- iii. 立体処理（図17）
- iv. 背景付け表示（図18）
- v. 大きさの変更（拡大または縮小）（図19）
- vi. 表示色の変更
- vii. 字体変更（図20）
- viii. 仮名種類変更（図21）
- ix. 上記の組み合わせ

図22は実際の表示の1例であって、シンボル強調処理として反転表示を、グループ強調処理としてアンダーライン付けを使用した場合を示す。

【0026】なお、上記実施形態においてはリモートコントローラでカーソルを移動させているが、ディスプレイ上に設けられるタッチパネルまたはナビゲーション装置に設けられた操作スイッチにより操作可能である。また本発明はナビゲーション装置、仮名以外に適用可能である。さらに強調処理は上記実施形態に限定されるものではなく、適宜変更可能である。

【0027】

【発明の効果】本発明に係る選択シンボル入力装置によれば、表示手段に複数のシンボルが表示された場合であっても、カーソル位置シンボルだけでなくカーソル位置

シンボルが属するグループに含まれる他のシンボルも強調表示されるため、目的のシンボルの認識性を向上することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】「ひらがな」の表示例である。
 【図2】カーナビゲーション装置の構成図である。
 【図3】カーナビゲーション装置の搭載例である。
 【図4】リモートコントローラの上面図である。
 【図5】シンボル表示ルーチンのフローチャートである。
 【図6】本発明に係るシンボル選択入力装置による「ひらがな」の表示例（1）である。
 【図7】カーソル操作の説明図（1）である。
 【図8】カーソル操作の説明図（2）である。
 【図9】カーソル操作の説明図（3）である。
 【図10】シンボル反転表示例である。
 【図11】シンボル立体処理表示例である。
 【図12】シンボル背景付き表示例である。
 【図13】シンボル拡大表示例である。
 【図14】シンボル字体変更表示例である。

- 【図15】シンボル仮名種類変更表示例である。
 【図16】グループアンダーライン表示例である。
 【図17】グループ立体表示例である。
 【図18】グループ背景付け表示例である。
 【図19】グループ拡大表示例である。
 【図20】グループ字体変更表示例である。
 【図21】グループ仮名種類変更表示例である。
 【図22】本発明に係るシンボル選択入力装置による「ひらがな」の表示例（2）である。

【符号の説明】

- 20…ナビゲーションコンピュータ
 21…ナビゲーションアンテナ
 22…ナビゲーションレシーバ
 23…方位センサ
 24…スピードセンサ
 25…CD-ROM
 26…CD-ROMプレイヤ
 27…ディスプレイ
 28…スピーカ
 29…リモートコントローラ

【図1】

【図2】

図1

「ひらがな」の表示例

- (A) あいうえお はひふへほ
 かきくけこ まぬめも
 さしすせそ やいゆえよ
 たちつと らりるれろ
 なにぬねの わをん、
- (B) あ か き た な
 い き し ち に
 う く す つ め
 え け せ て ね
 お こ そ と の
 は ま や ら わ
 ひ ぬ い り を
 ふ む ゆ る ん
 へ め え れ 。
 ほ も よ ろ 、

カーナビゲーション装置の構成図

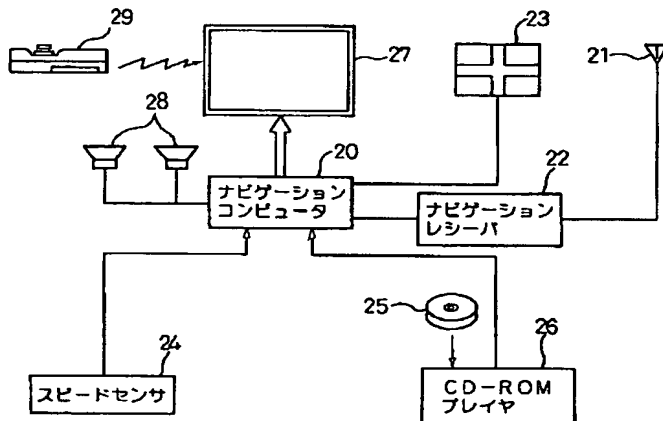
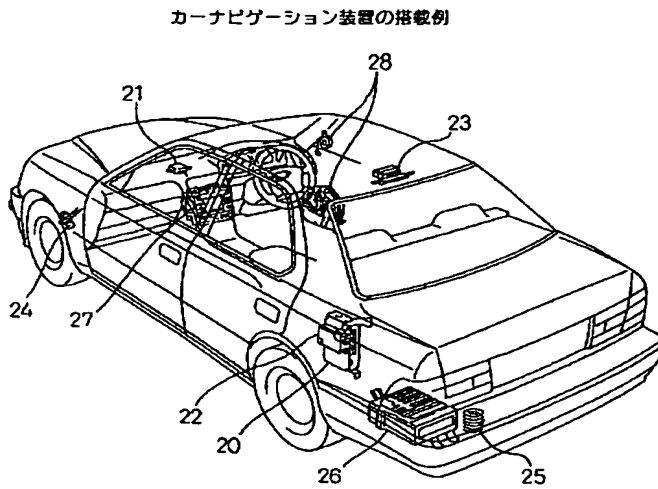


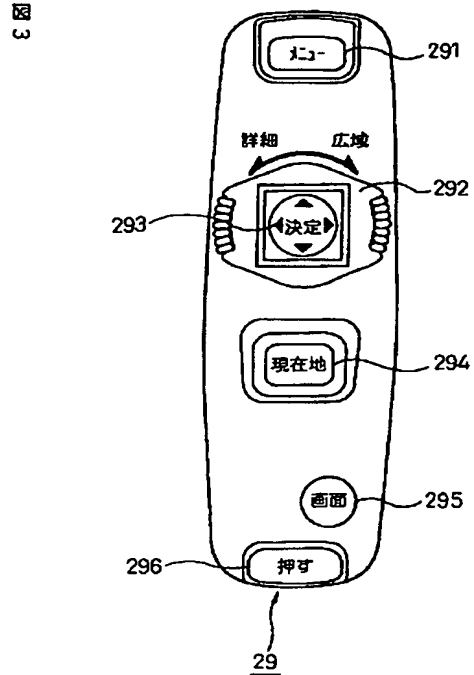
図2

【図3】



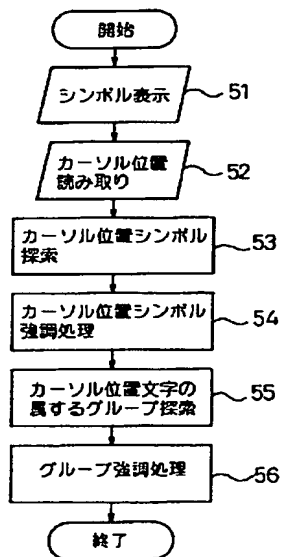
【図4】

図4 リモートコントローラの上面図



【図5】

図5 シンボル表示ルーチンのフローチャート



【図7】

カーソル操作の説明図(1)

1. カーソル『↓』移動	2. カーソル『↓』移動	3.
あいうえお はひふへほ	あいうえお はひふへほ	あいうえお はひふへほ
かきくけこ まみむめも	かきくけこ まみむめも	かきくけこ まみむめも
さしすせそ やいゆえよ ⇒	さしすせそ やいゆえよ ⇒	さしすせそ やいゆえよ
たちつてと らりるれろ	たちつてと らりるれろ	たちつてと らりるれろ
なにぬねの わをん、	なにぬねの わをん、	なにぬねの わをん、

【図6】

【図10】

図6 本発明に係るシンボル選択入力装置による「ひらがな」図10の表示例(1)

(A) あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん、

(B) あ か さ た な

い き し ち に

う く す つ ぬ

え け せ て ね

お こ そ と の

は ま や ら わ

ひ め い り を

ふ む ゆ る ん

へ め え れ 。

ほ も よ ろ 、

シンボル反転表示例

あ い う え お は ひ ふ へ ほ
か き く け こ ま め む め も
さ し す せ そ や い ゆ え よ
た ち つ て と ら り る れ ろ
な に ぬ ね の わ を ん 、

【図12】

図12

シンボル背景付き表示例

【図8】

カーソル操作の説明図(2)

あ い う え お は ひ ふ へ ほ
か き く け こ ま め む め も
さ し す せ そ や い ゆ え よ
た ち つ て と ら り る れ ろ
な に ぬ ね の わ を ん 、

図8

1. カーソル「↑」移動

あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん、

2. カーソル「↑」移動

あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん、

3.

あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん、

【図14】

図14

シンボル字体変更表示例

あ い う え お は ひ ふ へ ほ
か き く け こ ま み む め も
さ し す せ そ や い ゆ え よ
た ち つ て と ら り る れ ろ
な に ぬ ね の わ を ん 、

【図9】

カーソル操作の説明図(3)

図
9

1. カーソル「←」移動

あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ ⇒

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん。、

2. カーソル「←」移動

あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ ⇒

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん。、

3.

あいうえお はひふへほ

かきくけこ まみむめも

さしすせそ やいゆえよ

たちつてと らりるれろ

なにぬねの わをん。、

【図11】

図11

シンボル立体処理表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図13】

図13

シンボル拡大表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図15】

図15

シンボル仮名種類変更表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	ミ	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図16】

図16

グループアンダーライン表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図17】

図17

グループ立体表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図19】

グループ拡大表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図21】

図21

グループ仮名種類変更表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	マ	ミ	ム	メ	モ
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図18】

図18

グループ背景付き表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図20】

図20

図20

グループ字体変更表示例

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

【図22】

図22

本発明に係るシンボル選択入力装置による「ひらがな」の表示例(2)

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	い	ゆ	え	よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん	。	、

フロントページの続き

(71)出願人 000005821
松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(71)出願人 000004260
株式会社デンソー
愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

(72)発明者 岡田 貴穂
兵庫県神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
富士通テン株式会社内

(72)発明者 木村 雅之
愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社内

(72)発明者 柴田 由美
愛知県岡崎市岡町原山6番地18 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社内

(72)発明者 洪 傳明
神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内

(72)発明者 鶴見 俊也
愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 株式会社デンソー内

Fターム(参考) 2F029 AA02 AB01 AB07 AB13 AC02
AC09 AC14 AC16
5E501 AA23 AC03 AC34 BA05 BA09
CA04 CC02 DA08 EA12 EB07
EB19 FA13 FA23 FB21 FB26
FB28 FB29 FB44
5H180 AA01 BB04 BB13 CC12 FF05
FF25 FF35 FF40